

臨時農業生産情報

(大雨と雷及び突風に対する技術対策)

令和2年9月17日

青森県「攻めの農林水産業」推進本部

青森地方気象台発表（令和2年9月17日5時50分）「大雨と雷および突風に関する青森県気象情報 第1号」によると、青森県では、18日未明から明け方にかけて、雷を伴って激しい雨が降り、大雨となる所がある見込みです。また、17日昼過ぎから18日明け方にかけて、竜巻などの激しい突風や落雷、ひょうに注意してください。

今後、農作物への影響が懸念されますので、気象情報に十分注意し、次の点に留意して、被害の拡大防止に努めてください。

なお、ほ場の見回り等については、危険な場所には近づかず、安全を十分確保して慎重に行ってください。

1 共通の対策

- (1) 地盤が緩み崩壊の恐れがある農地・林地及び農道・林道並びに増水中の河川などには、絶対に近寄らないようにし、異常を発見した場合は、速やかに市町村等へ連絡する。
- (2) 浸水や冠水したほ場・園地では、明きょやポンプにより速やかに排水する。

2 りんご等果樹

- (1) 防風ネットを張り、破れている部分は補修する。
- (2) 幼木やりんごのわい性台樹では、支柱のぐらつきや主幹との結束状況を点検し、補強する。
- (3) ぶどうの垣根、なし棚等は、点検し、支柱等で補強する。
- (4) 落下した果実を加工用に仕向ける場合は、農薬使用基準上の問題がないことを確認する。

3 水 稲

- (1) 適期刈取に支障のないよう排水対策を徹底する。
- (2) 倒伏した場合は、できるだけ早く株起こしを行う。
- (3) 土砂が流入した場合は、速やかに取り除く。

4 畑作・野菜・花き

- (1) ビニールハウスやトンネルでは、倒壊したり被覆資材が飛散しないよう点検、補修を行うとともに、マイカ線や支柱などで補強する。
- (2) マルチ資材は、飛散しないよう土でしっかり固定する。
- (3) 施設周辺やほ場に排水溝を設け、排水対策に努める。
- (4) ながいも等の支柱は、倒れないように補強する。
- (5) 浸水・冠水などにより損傷を受けた場合は、薬剤を散布し病害の防除に努める。
- (6) ながいも等のほ場で、穴落ちした場合は、速やかに修復する。
- (7) 果菜類で冠水した場合には、草勢の低下を防ぐため、摘果や早採りで着果負担を軽減する。

5 畜産

- (1) 畜舎に雨水が流入した場合に備え、早めに除ふん作業を済ませ、紙袋の飼料等は浸水しない場所に移動する。
- (2) ロールペールサイレージは、ストレッチフィルムの破損を防ぐため、ブルーシート等で覆う。
- (3) 畜舎等は、破損を防ぐため、支柱等で補強するとともに、シャッターや窓などを完全に閉める。

6 農地・林地・農林業用施設

- (1) 農地・林地・農林業用施設が被災した場合は、速やかに被災状況を市町村へ報告する。
- (2) 被災した農地・林地及び農林業用施設は、身の安全を確保した上で、シートで被災箇所を覆うなど、被害が拡大しないよう努める。



| 報道機関用提供資料 | |
|------------|---|
| 担当課 担当者 | (りんご等果樹) りんご果樹課生産振興グループ GM 磯辺 慶 (水稲・畑作) 農産園芸課稲作・畑作振興グループ GM 腰巡 好之 (野菜・花き) 農産園芸課野菜・花き振興グループ【発行元】 GM 高橋 宗壽 (畜産) 畜産課経営支援グループ GM 山田 健司 (農地・林地・農林業用施設) 林政課治山・林道グループ GM 開米 常史 農村整備課防災・積算グループ GM 石黒 峰成 |
| 電話番号 | (りんご等果樹) 直通 017-734-9492、内線 5092 (水稲・畑作) 直通 017-734-9480、内線 5073 (野菜・花き) 直通 017-734-9481、内線 5076 (畜産) 直通 017-734-9496、内線 4814 (農地・林地・農林業用施設) 林政課 直通 017-734-9524、内線 4849 農村整備課 直通 017-734-9556、内線 4890 |
| 報道監 | 農林水産部 次長 石澤 雅史(内線:4966) 次長(農商工連携推進監) 赤平 次郎(内線:4967) |

【おしらせ】

青森県では、臨時農業生産情報をパソコンやスマートフォンにメール配信するサービスを実施しています。青森県農業情報のホームページ「アップルネット」からお申し込み下さい。